

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	全員協議会	会議の場所	全員協議会室
		担当職員	山崎 浩久
日 時	平成25年3月13日(水)	開議	午前11時22分
		閉議	午前11時41分
出 席 委 員	議員 26名		
執行機関出席者	山内政策推進室長、竹村政策推進課長、柏尾政策推進課参事		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅主任、山崎		
傍 聴	可・否	市民 0名	報道関係者 1名

## 会 議 の 概 要

議長 開議

午前11時22分～

### 1 行政報告

京都スタジアム(仮称)の整備(素案)について

#### (1) (仮称)京都スタジアム整備素案について説明

<政策推進室長>

昨日の新聞に掲載された内容であるが、一昨日、京都府が府議会に対して京都スタジアム(仮称)の整備素案を説明された。昨日亀岡市へもその資料が届いた。その内容について説明をする。

別紙資料により説明

#### (2) 質疑

<馬場議員>

資料P4に「ラグビー、サッカー、アメフトなどの決勝戦等が行われるスタジアム」とあるが、そもそもアメリカンフットボールは天然芝を壊すということで、亀岡市が除外をしたはずである。その点を京都府は考慮していない。また、この素案を見てサッカーをされている人が作成されていないのではと感じる。Jリーグのスタジアム標準を見ても分かるが、この規模では決勝戦はできない。つまり、そんなことすら知らない人が作成しているのでは考えるとあきれられる。市から府に伝えてほしい。

< 政策推進室長 >

どこまでの協議ができるかはあまり詳しくは承知をしていない。いただいた意見については、府にお伝えをする。

< 立花議員 >

P 5、アユモドキの保全について、亀岡市のコメントとして専門家に相談とあるが、専門家とは誰か。

< 政策推進室長 >

環境市民部が所管をしており、こういった人選をされているか承知をしていないが、環境省、文部科学省、京都府の意見を聞いて、学者を選定されているように伺っている。ただ、生態学だけでなく、地質学、生物学等様々な先生に入っただき、研究会を設置されると聞いている。

< 苗村議員 >

政策推進室長から課題として治水対策があると説明があり、また、桂川の河道整備は京都府が主体でやっていると考えるが、京都府のこの資料の中にそのことの記載がされていない。

< 政策推進室長 >

ここに記載されているのはスタジアムの関係であり、治水対策は造成に伴って河川協議がされる。その中で治水をどうするのがでてくる。この資料は施設をどう使うのかということでの資料である。

< 西村議員 >

アユモドキは住民も農作業の耕作者もさほど意識をしない中で、環境がよいということだけで生きていた。その後絶滅危惧種であるということがわかり、市も意識をして施策の中で取り組んできた。亀岡市はきちっとやると言っているので、この亀岡市の考え方は尊重されるべきものであると考える。外部の意見に左右されるものではないと考える。亀岡市が責任を持ってやるということを引きちと申し上げてほしい。

散会

全員協議会終了 午前 11 時 41 分